

## 見物人規定

### A. 主催者

1. 主催者はプレイの状況を電子的に中継することができる。
2. 主催者は別途見物人の振る舞いを規定することができる。

### B. ディレクター

1. ディレクターは規則および規定に基づいて見物人を管理下におく。
2. ディレクターは規定で禁止されている場合を除きチームメイトの見物を認めることができる。
3. ディレクターは非反則側に責任のある見物人が最初に違反行為を指摘したとき、違反行為に対して調整を受ける権利をなくすことができる。
4. ディレクターは反則側に責任のある見物人が最初に違反行為を指摘したとき、違反行為を訂正する権利をなくすことができる。
5. ディレクターはプレイヤに責任のある見物人の不当な情報が影響を与えた場合、スコアを修正することができる。
6. ディレクターはプレイヤに責任のある見物人の振る舞いに対してプレイヤに手順上のペナルティを科すことができる。

### C. テーブルにおける見物人の振る舞い

1. 見物人は細則で認められていなければ、2人以上のプレイヤのハンドを見てはならない。(第76条)
2. 見物人はディール進行中はビッドやプレイに対して一切反応を表してはならない。(第76条)
3. 見物人はラウンド中はいかなるしぐさまたは論評も控え、またプレイヤと一切会話してはならない。(第76条)
4. 見物人はプレイヤの邪魔を一切してはならない。(第76条)
5. テーブルの見物人はゲームのいかなる

事柄についても指摘するべきではない。  
(第76条)

6. 見物人は規定で認められていなければ、同じボードを見物する目的で違うテーブルに移動してはならない。

### D. 電子的に中継しているときの見物人の振る舞い

1. 電子的な中継を見物した見物人はそのセッションの間競技会場に入場できない。
2. 電子的な中継を見物した見物人はそのセッションの間プレイヤと決して話してはならない。
3. 電子的な中継においては2人以上のプレイヤのハンドを見物できる。
4. 電子的な中継においては同じボードを見物できる。